

小林 裕 幸

(ふらの未来の会)

スキー学習の充実

**問** シーズン2回程度のスキー学習のために、スキー用具を買っていただけないという声を聞くが、学校もしくはPTAでのスキー用具リサイクルの取り組み状況は。

**答** 本市において、小中学校では冬季間の体育授業について、スキー授業を中心に取り組んでいるほか、スキースポーツ少年団やスキー部活動においても活発に行われており、例年各大会で好成績を残している。

教育委員会としては、平成23年第4回臨時議会で可決した「子どもスキー技術向上支援事業」による無料パス券の発行により、スキーに対する取り組み支援をし、利用実績としては、12月11日現在で延べ1,759名が利用した状況である。

そのような中であって、スキー用具購入について保護者の負担は、経済的理由による生活困

窮家庭に対して、就学援助として小学校で2回、中学校で1回用具購入に対し援助をしている状況である。

リサイクルについての取り組みは、布部小中学校、樹海中学校、麓郷小学校の3校ではPTAを通じてリサイクルできるスキーの交換を実施している。また、「リサイクル市」・広報ふらの「ダイヤル交換市」を行っている。富良野市PTA連合会としても取り組みをしていく方向で会の方に話をしている。できるだけ幅広くスキー交換ができるよう取り組みたい。また、保護者の経済的な負担を軽減するため、スキー用具リサイクルについては推進していきたい。



ゲレンデの子どもたち

日里 雅 至

(民主クラブ)

中心市街地活性化

**問** 東4条街区市街地再開発の進捗状況は。

**答** 9月21日にふらのまちづくり会社より、計画していた「温浴施設」について、事業採算性が困難なことから除外することを決定した旨連絡を受けた。今後の事業内容・事業スケジュールは道と協議し本年度は「事業認可申請地盤調査委託、建築実設計委託」を実施する。

**問** 市推進本部会議検討内容は、まちづくり会社より行政施設、行政窓口の設置提案については、本市の将来を見据え、財政状況を踏まえ具体的な施設の必要性について検討している。

**問** 温浴施設に代わる施設は、施設については、行政としてやらなければならない施設、住民に喜ばれるものを踏まえ、メインとなる施設の状況づくりを行う。具体的には、第5次総合計画で掲げる福祉関係の子ど

も園的な施設、三世交代交流の場所、市の部署が移る可能性など財政を含めて内部調整し、まちづくり会社と協議する。

**問** 本事業に対する市長の決意は。

**答** 現行で変更になったのは現実である。その中で行政として中心市街地活性化構想を承認し市が基本計画を国に提出した。これらを踏まえて、これからの事業展開についてそれぞれ対等な形でまちづくり会社と意見交換をしていく。

財政に無理のない出来る可能性の事業、国の支援が反映できるか、それらを総合的に判断し市民の理解が得られるよう強い決意を持って望む。



駅側から見た街並み